

令和2年度事業報告

全 体

1 法人会員会費の増額について

(1) 実施経過

- ① 法人・団体会員に対し、令和2年7月9日付け会長名通知「美しい山形・最上川フォーラム年会費の増額について（お願い）」を發出し、1会員年額1万円以上の会費納入をお願いした。
- ② 会費の額を規定している現行規約は改正せず、会費の増額が困難な会員にあつては、現行の年額一口3千円の納入にとどまることも許容することとした。
- ③ 会費増額の申し出をいただいた法人会員に対し、会長名の礼状を郵送するとともに、ホームページに法人名を掲載した。

(2) 実施の効果

51の法人・団体会員から増額の申し出をいただき、増額効果は36万2千円となった。

2 計画的な会員拡大の取組み

(1) 実施経過

- ① 普及啓発ツールとしてパワーポイントを整備するとともに、会員募集チラシ及び入会申込書を刷新して勧誘活動に活用した。
- ② 全市町村及び会員金融機関を訪問し、個人会員の勧誘について協力を依頼した。

(2) 会員拡大目標の達成状況

令和2年度における新規加入会員数（3月31日現在）

個人会員：（目標）100人 →（実績）71人

法人会員：（目標）20社 →（実績）0社

3 会員アンケートの実施

(1) 実施経過

- ① 美しい山形・最上川フォーラム設立20周年を来年に控え、これまでの成果を検証するとともに、今後数十年の将来を見据え、美しく元気な山形を次世代に引き継ぐ活動をさらに発展させていく方策を検討するため、会員を対象にアンケートを実施した。
- ② 令和2年7月9日付け通知「通常総会不開催について」及び「会費納入のお願い」に同封して全会員に依頼し、メール、ファクシミリ、インターネットで回答を受け付けた。

(2) アンケートの集計結果（8月末まで）

配付総数 3,408会員（個人3,097 法人237 団体31 行政43 ※住所不明を除く）

回答数 127会員 回収率 3.7% （詳細はホームページに掲載）

(3) 今後の活用方法

運営委員会において、将来を見据えた活動の指針づくりに反映させる。

4 美しい山形・最上川サポーター(仮称)創設に向けた検討

(1) 趣旨

- ① 美しい山形・最上川フォーラム設立20周年（平成13年7月26日設立）を契機として、会員のほかに、若い世代を中心に最上川フォーラムの「サポーター」として幅広く確保し、活動のすそ野を広げるとともに、将来の担い手として育成していく。

- ② サポーターに登録していただくことにより、最上川フォーラムの活動に対する継続的な参加の動機付けとなるほか、リモートでの活動や交流が可能な仕組みを構築する。
 - ③ 登録件数に数値目標を設定し、活動のバロメーターとすることにより、最上川フォーラムの存在感を高め、活動の促進に資する。
- (2) 登録方法等
- ① 誰でも容易に登録できるようにする。
 - ② 簡易なアプリに登録してもらい、最上川フォーラムが主催する活動への参加や自発的に取り組む実践活動などを評価し、ランクアップできるような仕組みを検討している。
- (3) 実施時期等
- 令和3年度中に制度を発足させ、美しい山形・最上川サポーター1万人構想を宣言して5年以内の達成を目指したい。

部会事業

各部会の今年度の事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当初計画していた活動の中止や延期の判断が相次いだ。このため、参加者の安全確保を最優先として、実施期間の延長や実施方法の見直しを行うとともに、不特定多数の参加者が多いイベントについては、開催時期を9月以降に変更するなど、予定した成果が概ね上げられるよう取り組んだ。

清流・環境対策部会

1 第19回身近な川や水辺の健康診断

(1) 実施状況

①実施検討会

4月16日(木)に参集しての開催会から変更し、書面により意見をいただき、実施体制や調査マニュアル等を決定。

参集者：地域部会、大学、地域で環境保全活動に携わっている方々、国・県の行政機関

②調査期間

例年のように、世界環境デーに合わせ6月6日(土)～14日(日)を原則として調査期間を設けるが、コロナ禍の事情に鑑み安心安全に実施できるよう、10月23日(金)まで延長した。

参加申し込み期間は、5月22日(金)を期限に設けるが、実施期間に合わせ、期間中随時申し込みを受け付けた。

③主な調査内容

- ・透視度計(1m)による透視度調査
- ・パックテスト(簡易水質検査器材)による水質調査
6項目：pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン
- ※CODについては国土交通省と市民団体が連携して実施する「身近な水環境の全国一斉調査」の一環として実施。調査結果50地点分を提出。
- ・水辺環境(ゴミや川の中や水辺の生きもののおすみ場の様子など)の簡易目視調査
- ・外来種の情報提供
- ・水生生物調査：山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては身近な川や水辺の健康診断との同時申し込み可能。

④参加申込み 68団体・760名・200箇所(前年度：88団体、1,119人、249箇所)

⑤調査実施結果 65団体・801名・192箇所
例年参加している団体等からの参加申込みが減ったが、昨年の8割ほどの参加申込みがあり実施できた。

※()内の数値は、2019年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
実施団体数	13 (16)	26 (31)	11 (17)	15 (21)	65 (85)
調査箇所数	35 (52)	77 (73)	40 (53)	40 (54)	192 (232)
参加人数	145 (162)	299 (324)	178 (266)	179 (235)	801 (987)

年度別実施状況

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
団体数	124	83	108	116	110	100	85	80	95	101	97	100	95	93	89	87	82	85
人数	803	929	1060	1271	1181	1213	890	1055	1227	1028	978	934	1025	985	1213	1212	1056	987
調査地点数	346	285	284	298	287	217	215	221	259	257	256	258	243	250	257	259	244	232

(2) 事業に対する支援

① パックテストと比色カード (COD 以外の 5 項目)

国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所

② 公定法調査協力

公益社団法人山形県水質保全協会、一般財団法人山形県理化学分析センター、株式会社テトラス、東北環境開発株式会社、株式会社東北サイエンス、株式会社理研分析センター

(3) 参加者への現地調査サポートについて

参加団体からの要請に応え、清流環境対策部会部会長・副部会長・事務局始め、会員専門機関や地域部会長、地域部会の活動団体等の協力により、16 団体に事前指導や現地等にて水質調査指導や調査全般のサポートを実施。学校からの依頼が多いため、10 月後半までの実施期間をとったので、参加団体数は減少したものの、サポートした団体数は例年と変わらずに実施することができた。

また、サポート時には共有物を少なくし、なるべく密にならないよう心がけた。

(協力会員等) 公益社団法人山形県水質保全協会、心のふるさと新井田川の会、升形川に親しむ会

(4) 調査結果集計については、年度末に向けて例年どおり公益社団法人山形県水質保全協会の協力を得て、レーダーチャート等を作成し、ホームページ上の報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載する。

概要版として全県のデータを 1 枚の河川地図上にまとめたものを印刷し作成。

併せて、フォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載。

(5) 実施した小・中学校へは、総合学習等の参考にさせていただけるよう、調査結果報告書を受け取り後、速やかにレーダーチャートを作成し送付。

2 第 18 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン

(1) 実施状況

① 実施期間

新型コロナウイルス感染症拡大のため、10 月までの期間を延長、通年参加可能とし実施。

② 調査実施結果 53 団体・743 名

※ () 内の数値は、2019 年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
参加団体数	8 (8)	23 (21)	14 (16)	8 (7)	53 (52)
参加人数	94 (200)	286 (489)	269 (382)	94 (59)	743 (1,130)

年度別参加状況

	H14	H15	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
団体数	6	17	21	58	49	50	50	49	55	65	59	53	53	53	49	65	52
人数	—	—	—	1839	1019	1000	1700	973	1347	1523	1843	1510	1348	2246	1517	1485	1130

③ 「活動実施に当たっての注意」を案内、参加申し込みグループに送り、コロナ禍で実施する際の注意喚起を行う。

- ④データカード作成にご協力いただいたグループの活動経費の一部を支援。一律3千円
- ⑤活動の効率化を図るため、参加申込状況や調査結果をホームページの「最上川環境マップ」へ掲載し、随時更新。
- (2) 家庭でも取り組める「家でできるクリーンアップ活動」の実施。※外出自粛に伴い、提案した。
 - コロナ禍において、外でのゴミ回収・調査ができない時でも、ホームページ上に簡単にカウントできるシートを掲載し、家庭でどんなごみが多いかを数えることで、ゴミ削減、環境問題啓発につながる。
 - ※カウント報告、支援費はなし。クリーンアップ・キャンペーンまでの啓発として実施。
- (3) イベントとのコラボレーションを継続して実施。スポGOMI大会や海岸漂着物問題普及啓発事業との併催を推進。
 - 安藤ハザマ協力会スポGOMI & クリーンアップ
 - 10月7日 山形市馬見ヶ崎川河川敷(スポGOMI大会同時開催)参加者50名
- (4) 最上川上流における河川クリーンアップ活動実施
 - 山形河川国道事務所からの受託事業として、長井市、白鷹町、朝日町、寒河江市、天童市、河北町内の8か所において清掃活動を実施し、ゴミ数をカウントしてグラフ化した(9月28日、10月12日、13日)。
- (5) クリーンアップ全国事務局、全国川ごみネットワーク主催の「全国水辺のごみ調査」へデータを提供。4月～11月実施 ※回収はせず、カウントのみでも報告可能とする。

3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」

- (1) スポGOMI大会の開催 (別紙1参照)
 - 平成25年度から継続して、海岸漂着物問題対策の普及啓発等を目的として、企業・学校・団体と、クリーンアップとの併催も取り入れ県内各地で実施。新型コロナウイルス感染症対策のため、9月に降に大会が集中したが、参加者の地域の限定、人数制限などの対策を講じて実施。また、当日の検温、体調確認チェックを行い、チーム内で共有物をなくす等の取組みを行った。
 - ※新型コロナウイルス感染症感染防止のため今年度はアンケート実施なし。
- (2) 海岸漂着物問題普及啓発の実施
 - 身近な川や水辺の健康診断に参加する小・中学校、身近なゴミから環境を考える講座を希望した塾・学校等に対して出前講座を実施。(別紙2参照)
- (3) 商業施設等での海岸漂着物問題の普及啓発の実施
 - 海岸漂着物問題啓発のパネルや庄内海岸を再現したジオラマ、海岸に漂着した破片ゴミ(マイクロプラスチックゴミ)の実物の展示や回収体験コーナーなども設け、見て触って海岸漂着物の現状を知ってもらい、海岸漂着物問題に関心を高めてもらうきっかけづくりを行った。
 - 回収体験の実施にあたっては、体験者の手指、用具等のアルコール除菌等を行い、新型コロナウイルス感染防止策をとった。
 - ※新型コロナウイルス感染症感染防止のため今年度はアンケート実施なし。
 - 10月25日(土) 新庄市「エコフェスタもがみ環境展」会場内
 - 2月13日(土)、14日(日) 山形市 山形駅東西自由通路(回収体験なし)。
- (4) 海岸漂着物問題啓発やスポGOMI大会実施のための資材貸し出し、実施サポート、出張説明、体験授業をとおして、コロナ禍における環境問題啓発事業を提案し実施した。(別紙2参照)
 - 県内各教育委員会を通じ、各学校、法人会員へ案内チラシの発送。Webへの掲載。
 - 7月3回 山形市英語教室での説明とゴミ拾い。
 - 12月10日(木) 長井市勸進代公民館にてミニデーでの説明と紙芝居上演。
 - 2月9日(火) 大江町ロータリークラブ例会でのSDGsをテーマとした回収体験と説明。
 - 2月19日(金) 置賜消費者の会で紙芝居上演。
 - 2月20日(土) 海と日本アニメ上映でのパネル、標本展示。

(5) 環境教育プログラムの推進

2019年度作成した紙芝居を使って動画とミニブックを作成。ゴミ回収体験やマイクロプラスチックに関するワークショップ、パネルと合わせて活用し、身近なゴミの経過と行方から現状を知り、環境について考えるきっかけとなる、子どもから大人まで幅広い世代に関心を高めてもらう継続的な活動に繋げる取り組みを行った。

11月3日(祝) 小国町 ショッピングセンターアスモ内「再エネフェス2020」

(6) 山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携

- ・7月3日(金) 令和2年度山形県海岸漂着物対策推進協議会総会に出席。
- ・9月10日(木) 令和2年度山形県海岸漂着物対策推進協議会臨時総会に出席。

(7) 川ごみ団体との連携

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、全国川ごみネットワーク総会は書面決議で開催。
- ・「水辺のごみ見つけ！」へのデータ提供、情報交換。

(9) 海と日本プロジェクト in 山形実行委員会・ドリーム里山プロジェクトへの参加

- ・6月23日(火) 実行委員会・総会へ出席。
- ・スポGOMI大会の実施(海洋ごみバスターズ in 山形実行委員会)(別紙1参照)
- ・環境活動でつながるアプリ「ピリカ」を活用したごみ拾い等協力(海洋ごみバスターズ in 山形実行委員会)(10月24日、11月14日)
- ・モンテディオ山形試合会場等での海岸漂着物問題啓発(海洋ごみバスターズ in 山形実行委員会)
- ・「やまがたの海を考える」ドキュメンタリー映画上演、シンポジウムの共催、海岸漂着物問題普及啓発説明会、ピリカを使ったごみ拾いの実施(9月6日萬屋薬局)、海と日本アニメ上映会での啓発(2月20日)。

(10) ホームページ「最上川環境マップ」の整備

美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン、スポGOMI大会の実施時期や場所の選定が効率的にできるよう、実施予定や結果を随時更新。

(11) 最上川上流河川クリーンアップ活動の実施(再掲P5 2(4))

4 報告書「笑顔を写す山形の川」

身近な川や水辺の健康診断、美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーンの結果等の報告書を作成。ホームページ上にデジタルブックとして掲載。

5 広報啓発

コロナ禍によりオンライン開催となっている環境展に出展し、清流・環境対策部会事業及び当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めた。

- ・9月29日(日)「環境フェアつるおか2020」
つるおか “eco活” 動画コンテスト優秀賞受賞
作品名：美しく元気な山形を未来へ！ゴミ拾いはスポーツだ！「海岸編」
- ・10月30日(金)～1月31日(日)「令和2年やまがたオンライン環境展」

6 湧水活用事業

県内の「里の名水・やまがた百選」・「環境省選定」の湧水について、プロモーション動画、ポストカード等の作成、SNSでの発信等により、湧水を地域の資源として活用した豊かな自然の保全、地域の活性化を推進する取り組みを実施。

- (1) YouTube5本、イメージ動画1本作成。QRコードを掲載したポストカード配布、WEB等への掲載で発信。ホームページにアンケートフォームを作成し、情報収集。作成後は、イベント等でも活用。
- (2) 作成した動画やポストカードを活用し、プロモーションイベントを開催した。
2月13日(土)、14日(日) 山形市 山形駅東西自由通路

1 最上川夢の桜街道づくり

- (1) 維持管理等に関して全市町村・継続団体に対して要望調査を行い、相談のあった天童市に対して樹木医を派遣して、桜とその育成にかかわる調査・指導を行い、維持管理を推進。
- (2) 桜守育成のための研修会「桜守養成講座」、地域資源としての桜を活かすための研修会等を地域部会と連携して開催（緑化推進事業助成金活用）。
 - ・6月9日（火）鶴岡市ケヤキの森（鶴岡市・庄内地域部会）
講師：樹木医 砂山 隆司 氏、参加者 20名、
 - ・10月16日（金）天童市舞鶴山公園（天童市・村山地域部会）
講師：樹木医 山田 寛爾 氏、参加者 11名、
 - ・11月14日（土）鶴岡市ケヤキの森（鶴岡市・庄内地域部会）
講師：樹木医 砂山 隆司 氏、参加者 9名、
 - ・11月29日（日）鶴岡市由良コミュニティセンター（鶴岡市・庄内地域部会）
講師：樹木医 砂山 隆司 氏、参加者 10名、
 - ・12月6日（日）金山町有屋地区（金山町・最上地域部会）※中止
- (3) 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」
「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして、桜をシンボルに東北の復興を目指した運動を行っており、10年プロジェクト最終年度であるが、新型コロナウイルス感染症拡大のため2年度はスタンプラリー、山形信用金庫の清掃活動への参加、SNSでの開花情報、桜街道紹介を中止した。
- (4) 県内の桜の名所や地域で愛されている桜を SNS で紹介。インスタグラムなど SNS を活用した多言語での最上川・山形の桜の魅力を県内外、国外へも発信。新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、開花情報、活動の紹介は中止したが、外出自粛と桜の開花時期が重なったことを受け、Web 上で「おうち花見」を提案し、これまでの桜の写真コンテスト受賞作品を掲載した。
- (5) 3月に公益財団法人日本さくらの会から「さくら功労者」として表彰された。

2 「夢の桜街道～さくら物語～」

- (1) 事業報告を主とした機関誌として作成し、Web Paper でホームページ上に掲載してきたが、令和2年度は、最上川フォーラムの活動をわかりやすく紹介するパワーポイントを作成し、ホームページに掲載した。会員勧誘活動にも活用している。
- (2) 現在は、事業報告と活動紹介が主となっていることから、機関誌としては廃止することとし、随時ホームページ上での情報公開を行っていく。

3 夢の桜街道キャンペーン

- (1) 協賛金融機関の御協力により、会員募集案内の掲示をいただいた（7月～）。
- (2) 会員募集や事業広報のため、ホームページの活動案内にアクセスできるQRコードを入れた名刺サイズのカードを配付。参加申込手続き等を簡素化するため、入会申込書、案内チラシにQRコードを掲載。

4 写真コンテスト受賞作品写真展

- (1) これまでの写真コンテスト入賞作品の貸出しを希望者に対して随時受付。
- (2) 「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」
「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所巡り」の紹介、桜の維持管理事業の啓発も兼ねた展示会を行う。（令和2年3月から引き続き）
 - ①3月28日（土）～4月3日（金）甕葉プラザ（村山市）1階ロビーにて開催。
 - ②4月4日（土）～4月20日（月）寿屋壽香蔵（東根市）にて開催。※全市町村に展示箇所の照会を行った。令和3年3月下旬から市町村、団体の協力を得て巡回。

5 ホームページの更新

- ・活動予定や報告などを中心に掲載し、見やすいよう随時更新。
- ・イベントの告知や会員の交流などに活用していただけるよう、当フォーラムの活動に参加している企業や団体等皆様の活動を御紹介する「会員ニュース」のコーナーを新たに設けた。
- ・会費の増額を申し出いただいた法人・団体会員を顕彰するため、ホームページに一覧を掲載した。

6 地域おこしの紙芝居作成

- (1) 昨年度に作成した海岸漂着物紙芝居の上映や貸し出しなどの発信と動画（英語、日本語版）、ミニブック作成、海岸漂着物問題啓発事業で広く活用。
12月10日（木）長井市勸進代公民館にてミニデーでの説明と上演。
2月19日（金）置賜消費者の会で上演。
- (2) 昨年度より継続して、村山・置賜地域部会の連携により、10作品完成に向けて、最上川にまつわる紙芝居の製作（大石田町）と製作に向けた取材（村山市）の実施。
※新型コロナウイルス感染症拡大により、大石田町については延期、村山市は中止。
これまで製作した紙芝居の活用法やフォーラム開催等を来年度以降に検討する。

7 湧水活用事業（再掲）（P6-6）

地域部会

◇置賜地域部会

- (1) 村山地域部会と連携した紙芝居づくり
- (2) スポGOMI大会への協力
置賜地区で開催した「スポGOMI大会」へスタッフとして参加協力
長井大会
- (3) 環境イベントでスタッフとして協力
11月3日（祝）小国町ショッピングセンターアスモ「再エネフェス2020」会場内
- (4) 最上川上流河川清掃に参加協力
10月13日（火）白鷹町、長井市
- (5) 2019年度製作した海岸漂着物問題啓発紙芝居を使った啓発。
12月3日（木）長井市勸進代公民館にてミニデー
2月19日（金）置賜消費者の会にて上演。

◇村山地域部会

- (1) 「～夢の桜街道～写真と灯りの展示会」開催
①3月28日（土）～4月3日（金） 甕葉プラザ1階ロビー（村山市）
②4月4日（土）～4月20日（月） 寿屋壽香蔵（東根市）
- (2) 桜の維持管理活動への協力
10月16日（金）「天童市桜守養成講座」を舞鶴山公園にて開催（天童市と共催）
- (3) 「スポGOMI大会」への参加協力
村山地域で開催した「スポGOMI大会」へスタッフとして参加協力。
蔵王第一小学校6学年プレ大会、蔵王第一小学校6学年大会

- (4) 「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査等のサポートを実施。
6月10日 東海大学山形高等学校科学部、6月16日 西川町立西川小学校、
8月6日 山形県立山形北高等学校生物班、9月15日・10月6日 山形市立本沢小学校、
10月20日 東根市立大富小学校
- (5) 置賜地域部会と連携した紙芝居づくり

◇最上地域部会

- (1) もがみの湧水調査会
山形県で実施している「里の名水山形百選」への応募の働きかけを行った。
- (2) 「桜の育成維持管理研修会」の開催検討
12月6日 有屋地区にて「桜を守り育てる研修会」検討。(中止)
- (3) 「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポートを実施。
8月20日 新庄市立升形小学校、8月19日・20日 新庄市立日新小学校

◇庄内地域部会

- (1) 「スポGOMI大会」開催、協力。
サンセット由良大会、サンライズ由良大会（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、6、9月実施予定を変更し、9月に実施）
香頭ヶ浜大会（荒天中止）※東北芸術工科大学主催で海岸漂着物アートプロジェクト実施
- (2) 「桜の育成維持管理研修会」の開催
6月9日、11月14日 鶴岡市ケヤキの森(鶴岡市と共催)、11月29日 鶴岡市由良コミュニティセンターにて「桜を守り育てる研修会」開催。
- (3) 「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポートを実施。
7月15日、9月17日 酒田市立平田小学校
- (4) 「内川学フォーラム」の共催
「内川学フォーラム」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。

※各地域部会の「スポGOMI」大会開催、協力等の詳細については別紙1参照

総会・運営委員会・部会

通常総会（不開催）

運営委員会（6月8日（書面決裁）、12月4日、3月23日（書面決裁に変更））

合同部会（12月4日、3月23日（中止））

委託事業・助成事業など

- 1 令和2年度 川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務委託（山形県循環型社会推進課）
委託料：3,397,000円
 - ・スポGOMI大会開催
 - ・海岸漂着物問題普及啓発出前講座の実施
 - ・商業施設等での海岸漂着物問題普及啓発の実施
- 2 やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」
テーマ名：テルス（株）川と海をつなぐ美しい元気な山形づくり事業
事業名：身近な生活から発見！海のごみ？川のごみ？～一緒にぐるぐる考えよう～
助成額：450,000円
 - ・環境紙芝居を基にしたミニブックの作成・配布、環境紙芝居の日本語、英語版の動画作成等による発信
 - ・「身近な生活で出るごみから考えていく海岸漂着物問題」体験、ワークショップ開催
- 3 やまがた社会貢献事業「協働助成事業（一般）県政課題部門」
事業名：湧水の里魅力発信プロジェクト
助成額：430,366円
 - ・「里の名水・やまがた百選」のうちの1か所のプロモーション動画、ポストカードを作成等の発信による地域活性化
- 4 緑化推進事業（公益財団法人山形県みどり推進機構）
助成額：100,000円
 - ・桜の維持管理研修会の開催
- 5 令和2年度山形県環境保全活動支援事業費補助金（山形県環境企画課）
事業名：湧水探検隊！～映像を通じて湧水ツウになる～
補助金額：547,595円
 - ・県内の湧水を紹介するYouTubeでの動画作成、チラシ、ポストカード作成等による発信
- 6 運営体制整備事業費補助金（山形県）
補助額：4,434,348円
 - ・事務局長設置費
- 7 山形県企業局負担金
負担金：400,000円
 - ・スポGOMI大会、クリーンアップ・キャンペーンの共催
- 8 最上川上流河川清掃活動（国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所）
委託額：605,000円
 - ・最上川上流8か所での清掃活動
- 9 水環境保全助成事業（一般社団法人全国浄化槽団体連合会）
助成額：200,000円
 - ・「身近な川や水辺の健康診断」の実施
- 10 寄付金（山形信用金庫）
寄付額：100,000円
- 11 スポGOMI大会協賛（一般社団法人生命保険協会山形県協会）
協賛金額：100,000円
- 12 海洋ごみマスターズ in 山形実行委員会 Change for the blue 委託事業（㈱テレビユー山形）
委託額：330,000円
 - ・スポGOMI甲子園大会の運営
 - ・アプリを使ったゴミ拾い、海ゴミ啓発映画上映とシンポジウム開催協力等
 - ・モンテディオ山形ホームゲーム会場での啓発

※敬称略